

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2015

11

2015年10月25日発行
通巻203号

選択肢を広げよう





子どもが発しているサインに対して、親はどのように向き合うのかを考える

学校に行かないということ

文部科学省が発表した学校基本調査（速報値）によると2014年度に病気や経済的な理由以外で年間30日以上欠席した「不登校」の小中学生は、前年度より約3,300人多い12万2655人に上ることが分かりました。陰湿ないじめや対人関係…さまざまな理由で不登校になる子どもたちに、大人はどう接していけばよいのでしょうか？

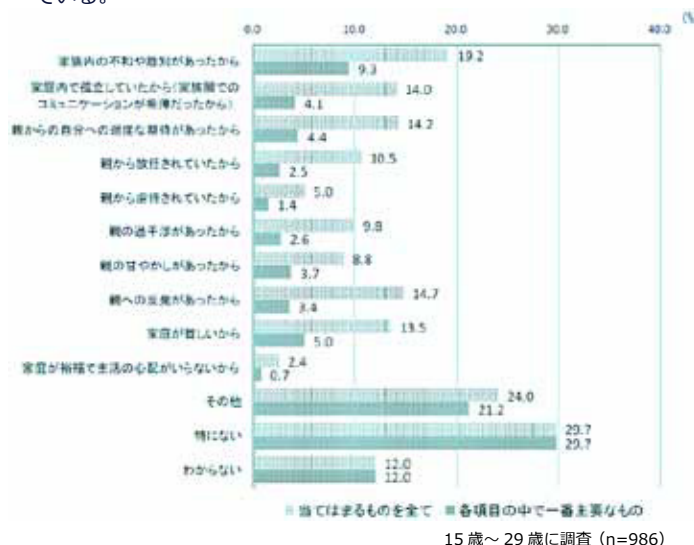


■ グラフから見てみよう ■

社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験した主な理由は何ですか。（複数回答）

<家族・家庭について>

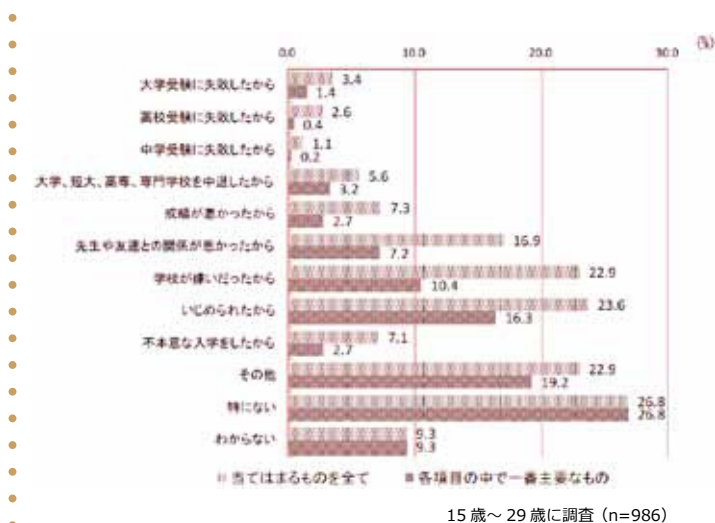
社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかったと思う家族・家庭についての主な理由では、「家族内の不和や離別があったから」が19.2%と最も高く、次いで、「親への反発があったから」14.7%、「親からの自分への過度な期待があったから」14.2%となっている。また、各項目の中で最も主要な理由は、「家庭内の不和や離別があったから」が9.3%と最も高く、「家庭が貧しいから」5.0%、「親からの自分への過度な期待があったから」4.4%となっている。



社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験した主な理由は何ですか。（複数回答）

<学校について>

社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかったと思う学校についての主な理由では、「いじめられたから」が23.6%と最も高く、次いで、「学校が嫌いだったから」22.9%、「先生や友達との関係が悪かったから」16.9%となっている。また、各項目の中で一番主要な理由は、「いじめられたから」が16.3%と最も高く、次いで、「学校が嫌いだったから」10.4%、「先生や友達との関係が悪かったから」7.2%となっている。



参考：内閣府 平成24年度「若者の考え方についての調査」（二一ト、ひきこもり、不登校の子ども・若者への支援等に関する調査）から一部抜粋

教育機会確保法



2015年5月、学校以外の場所（フリースクールや家庭など）で学んでいても義務教育修了とみなし、学校外の学びを応援する「(仮)多様な教育機会確保法」という試案が発表されました。学校以外の場で学習することが正式に認められれば、学び場をたくさんの中から選べることになり、その子にあった選択を共に考えることとなります。

ですがこの法案に懸念もあります。保護者が学校と同じような学習計画を立てられるのか、義務教育の民営化や、家庭の学校化を招いて子どもの安心できる場所を狭めているのではないか、不登校の子どもと保護者をますます追い詰めるのでは、といった声も出ています。もちろん学校でしか学べないこともたくさんあります。社会性や、見識を培う場にもなるでしょう。大人の都合だけで決めるのではなく、子ども達にとって最良な判断をしてほしいものです。

「特定非営利活動法人 フリースクール三重シューレ」さんにお話を伺いました



🔊 フリースクール三重シューレとはどんな場所ですか？

「いっしょに生きる・『個』で育つ」ことを大切にしています。安心できる・気軽に来れる場所を子どもとスタッフで作っています。一時的な避難場所として来る子どももいますし、ここで育ち・学ぶ（通信制高校とも連携）ことを選ぶ子どももいます。

🔊 不安を抱えている子どもにどう接するのが良いのでしょうか？

三重シューレでは、対等な人間関係を大切に、子どもを評価することはありません。信頼関係はその延長にあると考えています。この信頼関係の中で子どもたちは「不安」を解決していきます。

🔊 大人は子どもをどう支えていけばいいのでしょうか？

子どもは絶対に育ちます。今の厳しい世の中で精一杯生きています。保護者・教育関係者は自分の頭の中で描いている「理想の子ども像」を追い出し、今「目の前にいる子ども」を受け止め、子どもの成長を心から信頼してほしいです。

🔊 親・保護者に大切にしてほしいこと

不登校・教育相談では「今まで頑張ってきたのに今は頑張っていない」と言う保護者が多いです。子どもは色々なことを見聞きし経験し成長している途上です。（大人も同様ですが）「頑張らないこと」もありでしょうし、大人の目から見て頑張っているかどうかを評価することは、子どもにとっては自分の心や成長のプロセスを否定されたことにならないでしょうか。

子どもの育ち方はさまざまです。他の子どもと比較をしないで、子どもの「試行錯誤」を応援していただきたいです。

「三重県総合教育センター」さんにお話を伺いました



🔊 三重県総合教育センターでは、どういった内容の相談が多いですか？

幼児から高校生までの子どもを対象に、保護者をはじめとするご家族やご本人、教職員や地域の方々から、年間約 8,000 件を超える相談（面面相談及び電話相談）があります。その中で一番多い相談は不登校に関することです。

なぜ不登校になるのか、自分でも明確な理由がわからないというお子さんもたくさんいらっしゃいます。新しい環境や対人関係など、さまざまな要因があるのではないかと思います。そういった子どもとじっくり話をし、子どもの心の声をしっかりと受けとめ、どうしたら心の負担が減るのか一緒に考えていきます。

🔊 子どもとの関わり方とは？

子どもの悩みやご家庭の状況はさまざまですので、子どもへの関わり方は、その子どもによって違ってくると思います。

絶対にこうするべきだと押しつけずに、子ども本人の成長する力、伸びようとする力を信じて、一緒に考えていくことが大切です。

子どもは、悩みを誰にも相談できずに抱え込んでしまうこともあります。民間、公的、学校、地域で相談にのってくれるところがたくさんあり、あなたのことをちゃんと受け止めようとしている大人が身近にいることを知ってほしいと思います。

本人もご家族も一緒に考えることで安心感をもっていただければ幸いです。社会に溶け込もうと焦る気持ちになるとは思いますが、少しでも社会との接点があれば、一緒になって解決策をさがしていけるところと出会うのではないのでしょうか。

お子さんは、毎日楽しそうに過ごしているように見えますか？

子どもの気持ちをわかった気でいませんか？

本当は辛い想いをしているのに隠している子どもは多いと思います。学校へ行きたくない…それは子どもからの SOS かもしれません。そんな時にそばにいる家族・保護者が些細な変化に気づいてあげることが大切です。

この子はこういう性格だから…などと決めつけずに、子どもの目線に立ち、話を聞いてあげてください。何が不安なのか一緒に考えるだけでも子どもたちにとって大きな支えになるのではないのでしょうか。

三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」では、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【子どもの健全育成】。子ども関連の団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：みえきた市民活動センター

CAP みえ (キャップミエ)

〒511-0811 桑名市東方454 第2富士コーポ263 ☎090-6089-7134 ✉capmie-kodomo@yahoo.co.jp



教職員ワークショップ

CAP(キャップ)とは、Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)プログラムです。私たちCAPみえは、子どもたちがいじめ、虐待、誘拐、性暴力などのさまざまな暴力から自分の心と体を守るための予防教育プログラムを子どもと大人に伝える活動をしています。主に、幼稚園、小学校、児童養護施設でワークショップを実施しています。子どもたちには、誰もが「安心」して「自信」を持って「自由」に生きる権利がある大切な存在ということを伝えます。それらの権利を奪ってしまう暴力から自分を守るためにできることを話し合い、「NO」「GO」「TELL」などの具体的な方法を練習します。周りの大人は、子どもの権利を保障し、子どもたちが心から安心できるようサポートします。その一つとして「子どもの話を聴く」ことを提案しています。子どもは、問題解決力などたくさんの力を持った存在です。その力を信じ、子どもの声に耳を傾け、共感し、共に考えることで「大切なあなた」というメッセージを伝えます。自分が大切な存在であるということを知ると、自分を守るための知恵や工夫、勇気が湧いてきます。

メルマガ会員(無料)への登録をください。
Capmie-ajj@yahoo.co.jp

1997年設立当時からの会員が多く、使命感を持ち活動をしています。CAPプログラムの理念「エンパワメント」に支えられ、活動を続けてきました。私たちと共に活動する人を募集しています。子どもを応援する大人の姿、存在を、もっと子どもに見せたいと思っています。

NPO法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市

情報提供：四日市市なやプラザ

〒510-0961 四日市市波木町2040-2 ☎059-321-0883



自然体験では、火おこしや調理を子どもが行います

健全育成という言葉に抱くイメージは、「決まりを守り、大人の言う事を聞く良い子」極めてお役所的だと感じます。多くの子どもたちは、親や指導者の指示・命令の中で成長し、常にどこにあるかもわからない正解に自らを合わせようとし、自分を見失っています。本当の自分と社会が求める正解が一致しない多くの子どもや青年が、心のバランスを崩したりして、社会との間に距離を置いてしまいます。先進国の中で日本の子どもの自己肯定感が極めて低いなど、自分に自信がなく孤立感があるというデータが毎年報告されます。私たちは、子どもはたくさんの体験の中で自ら成長を遂げていくと信じています。そのために、自然・生活・社会体験、異年齢の子どもや、多様な価値観の大人たちとの関わりの場を創り、ありのままの自分を肯定し、それを表現して、周りとの関係をつくり自立していくことができるようにサポートしています。

体験への参加、もしくはボランティア、歓迎します。まず見に来てください。

「ファミサポ」や「こんには赤ちゃん」事業などの委託事業もしておりますが、自分たちで建てた3棟の建物は毎日たくさんの子どもで賑やかです。ホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人 こどもサポート鈴鹿

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

〒513-0817 鈴鹿市桜島町6-20-3 ☎059-383-1322



高学年キャンプで川遊び

こどもサポート鈴鹿は、子どもが豊かに育つことができる地域社会をめざして子育て・子育て支援の活動をしています。地域で子どもの育ちを支えるファミリー・サポート・センターや、0~3歳の親子の居場所となるよう創られたつどいの広場もあります。また電話を通して18歳までの子どもたちの声を受け止める「チャイルドラインMIE」の鈴鹿地域での実施と、子どもに寄り添い傾聴し、子どもの意志や気持ちを大切に、最善の利益を保障するとともに解決策を探る「こどもほっとダイヤル」の開設。社会的養護を進める里親啓発・研修事業、養護施設の子どもの学習を支援するなど、子どもたちに遊びと感動の機会を提供する自然体験事業や文化芸術事業など子ども主体の事業をめざしています。

お気軽にお問合せください!

子どもにかかわるさまざまなボランティアを募集しています。11月には、ファミリー・サポート・センターの提供会員養成講座も行っており、子どもの育ちをいっしょに支えてください。

子ども唐人・唐人踊りを継ぐ会

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0821 津市垂水 2010-114 (小菅方) ☎090-8869-7528 (代表世話人 小菅雅司) ✉kosuge_man@nifty.com



まちのイベントや老人ホームで活動

「子ども唐人・唐人踊りを継ぐ会」(通称・子ども唐人)は、津市の分部町(わけべまち・現在は東丸之内)に、約380年にわたって受け継がれている「唐人踊り(とうじんおどり)」(本物は大人が踊ります)というお祭りの出し物を、子どもたちに知ってもらうことと後継者を育てることを目的に、平成4年に発足しました。「唐人踊りが好き」「やってみたい」という子どもたちの居場所になればという思いもあり、続けてきました。最初はごちひななかつた踊りも練習を重ね、出演を経験するたびに堂々と振る舞い、たくましくなる子どもたちの姿に、毎年感動しています。そして今では「子ども唐人」の卒業生が、大人の「唐人踊り」の主要なメンバーとして、津まつりで活躍しています。

メールにてご連絡ください。

まつりは、見ているよりも参加する方がおもしろいと思います。「唐人踊りがおもしろい」、「唐人踊りをやってみたい」と思う津市内の小学生のみなさんのご参加をお待ちしています。

多気町まちづくり仕掛人塾子ども未来応援委員会

情報提供：松阪市市民活動センター

✉tmskodomo@yahoo.co.jp URL <https://www.facebook.com/tmskodomo> (Facebook ページ)



かえっこバザール

かえっこバザール等の情報は Facebook で発信しています。また現在、イベント運営に関わっていただく子どもスタッフをはじめ、中高生、大学生、大人のスタッフを募集中です。親子でのスタッフ参加も大歓迎です。詳細はお問い合わせください。

多気町を拠点に、未来を担う子どもたちの「育ち」を地域全体で支えることを目的に活動しています。子どもたちが自分らしく育つために、子どもとの関わり方を地域全体で考え、子どもが地域社会と関わる場づくりの事業を行っています。中でも「かえっこバザール」は2013年から8回を迎える人気の事業です。遊ばなくなったおもちゃなどを交換し合うイベントで、地域の企業や他の市民活動団体と連携しながら実施しています。子どもたちが主役となり、企画をつくる会議などを定期的に開催しながら「子ども主体」の運営を行い、子どもの個性や主体性が育つ場をつくっています。

また「子育て・子育て・自分育ち」をテーマに、大人が子どもと関わるなかで大切にしたいことなどを学ぶ勉強会も不定期で開催しています。有識者によるトークカフェや講演会、映画会等を通じて、さまざまな立場の人が世代を超え、参加者同士で交流し、多様な価値観に気づきあえる場をつくっています。

現在の委員会メンバーは、19歳から70歳代までの男女20名です。かえっこバザールは、5～6名の子どもが中心になって企画し、当日は20名を超える子どもスタッフと、サポートする大人スタッフ約50名が一緒に運営しています。

NPO 法人 三重みなみ子どもネットワーク

情報提供：いせ市民活動センター

〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13 ☎0596-28-5692 ✉kodomo21@amigo.2.ne.jp



ファミリーサポート交流会

「すべての子どもが自分に誇りと自信を持ち、自ら考え責任を持って行動できるよう活動を通してサポートする」ことを三重みなみ子どもネットワークのミッションとしています。子どもを直接支援する事業と親を支援することで子どもを間接的に支援する事業を行っていますが、直接支援する事業として「チャイルドライン MIE ネットワーク」の伊勢実施組織運営があります。チャイルドラインとは、子どもが電話で自分の悩みを話し、気持ちに寄り添ってもらうことでエンパワメントするというものです。電話を受けるのは講習を受けたボランティアですが、近所のおばちゃん、おじちゃんといった役割で子どもの心に寄り添います。子どもたちは苦しい気持ちを聞いてもらう内に、気持ちが軽くなり前を向いて進んで行こうという気持ちになります。子どもたちの悩みとしては、学校での人間関係の悩みが大変多く、クラスメイト・先輩・先生などの軋轢が子どもたちを苦しめているようです。

電話でお問い合わせください。

チャイルドラインの他、ファミリーサポート事業・児童養護施設入所児童への学習支援事業などでもボランティアを募集しています。ホームページで募集情報をご覧ください。直接事務局へお問い合わせください。

えびすや／Hinokku

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

〒519-3637 尾鷲市光ヶ丘 14-18 えびすや ☎0597-23-0009 FAX 0597-22-1591 ✉yayoiebisuya@yahoo.co.jp

URL <http://www.ztv.ne.jp/web/yayoiebisuya/>



木工体験ワークショップ

小さなお子さんやその親御さん向けの木工製品を販売しています。また、県内外のイベントや地元施設内でお子さん向けの木工体験のワークショップを開催したり、地元の産業を学ぶ小学校の生涯学習の時間に呼んでもらったりしています。実際に体験してもらう内容は、色を付けたりボンドでくっつけたり、カッターや小刀でスプーンを削ったりその日のうちに持って帰ってもらえるように心がけています。最近は、赤ちゃんに自然なものをプレゼントしたいといった志向の方が増えてきていますので木に親しみを持ってくれるような人に育つよう、こうした活動・製品づくりに今後も一層努めたいと思います。

連絡先への問い合わせ、各地イベントでの体験ワークショップへの参加 など

木製の製品は少し扱いづらいイメージがあるかもしれませんが、触り心地や香りを楽しめるような、親しみやすい商品づくりに努めています。是非お子さんと一緒に体験イベントに参加してみてください。

募集のご案内

フリーマーケット in 四日市ドーム Vol.50

リサイクルをテーマに市民参加型によるフリーマーケットを通じて、生活レベルの身近な環境問題の啓発に努めると共に、地域の人々との世代間の交流を深め、まちの活性化に寄与することを目的に開催する。

日時 2015年11月8日(日) 10:00～16:00
(屋内のため、雨天決行)

場所 四日市ドーム(四日市市大字羽津甲 5169)

入場料 当日券 600円・前売り券 400円
(小学生以下は無料。前売り券は、東海地区の主要コンビニエンスストアなどで発売)

その他 700ブース(予定)
全国うまいもん市と物産展等、同時開催
近鉄四日市駅東口より無料シャトルバスを運行

問合せ先 (特活) MFA TEL:059-320-0133 FAX:059-320-0134

✉ webmaster@mfa.gr.jp

HP <http://www.mfa.gr.jp>

時代はフューチャーセッション!! “みえの少子化対策を考える フューチャーセンター”

地域の困り事や悩み事を解決するために、テーマに関係がある人もない人も、年齢や性別にかかわらずそれぞれの立場や視点で、対話をし新たなアクションを生み出す場です。地域の企業や市民活動団体、主婦や学生、行政の方など、みんなが当事者・関係者となって、立場の違いを超えたコミュニケーションにより「ちょっと笑顔になれそうな」アイデアを話し合います。一般的な会議やセミナーとは違い、アイデア創出の手法を取り入れた、笑い声も飛び交う楽しい場です。話し合われる内容が「フューチャーセッション」、場所が「フューチャーセンター」です。

ヨリソウ未来研究所 後編

日時 2015年11月9日(月) 13:30～16:30
(受付 13:10)

場所 松阪市市民活動センター(松阪市日野町 788)

定員 先着 20名(申込締切 11月6日(金))
参加費無料(託児希望の方は開催日の1週間前までにお申込みを)

※ヨリソウ未来研究所 前編も10月27日(火)に実施

申込・問合せ先 NPO法人Mブリッジ
TEL:0598-23-8400(担当:石丸)

FAX:0598-23-8488

FAXまたはホームページよりお申込みください

HP <http://goo.gl/qPhxFv>

facebook <https://www.facebook.com/miesyoushikafuturecenter>

国際交通安全学会 IATSS フォーラム 設立30周年 記念講演 ロバート キャンベル 氏 A WORLD OF HUMAN CHEMISTRY ～「違い」をつなぎ「違い」をつむぐ～

「違い」を持つ人びととの関わりや認め合いを通して人生を豊かに、そして平和で多様性に満ちた社会にするための「第一歩」とは…ロバート キャンベル氏と共に考えてみませんか

東京大学大学院総合文化研究科教授(日本文学)
ニューヨーク生まれ、カリフォルニア大学バークレー校卒業

日時 2015年11月14日(土)
16:00～17:30(15:30開場)

場所 鈴鹿サーキットホテル サクラホール(鈴鹿市稲生町 7992)

定員 450名(入場無料/先着順)

申込先 公益財団法人国際交通安全学会 IATSS フォーラム
下記 Web ページよりお申込みください

HP <https://www.q-pass.jp/surl/gq5P>

伝えるコツセミナー ～お役立ちスローガンの作成～

自団体のミッションや目的を簡潔に言い表した「スローガン」を作成し、今後の団体発展に役立てていただくためのセミナーを津で開催します!コミュニケーション分野を専門とする電通の講師から「うまく伝える」ための基礎や、企業の実例をまじえてスローガン作成のコツを学び、「これだ!」というスローガンを完成させましょう。

日時 2015年11月22日(日)
13:00～17:00(受付 12:30)

場所 津市市民活動センター 地下1階(津市大門 7-15 津センターパレス)

参加費 2,000円(当日払い)

定員 30名(要申込・先着順)

対象 NPO(NPO法人、その他非営利団体、ボランティア団体、市民活動団体など)のスタッフ、またはいずれかで活動中の方

主催 津市市民活動センター

協力 NPO広報力向上委員会、日本NPOセンター、電通

申込・問合せ先 津市市民活動センター

FAX:059-213-7201

FAX、メール、Web ページよりお申込みください

✉ tsusimin@zvtv.ne.jp

HP <http://tsusimin.jimdo.com>

関東・東北豪雨災害 支援金の御礼

台風18号にともなう豪雨の影響で被害を受けた方々の支援のため、みえ市民活動ボランティアセンターで利用者の方々に募金を呼び掛けたところ、総額6,124円の募金が集まりました。(実施期間：平成27年9月11日～10月6日)

集まった募金は全額を【認定NPO法人茨城NPOセンター・コムズ いばらき未来基金 水害被災者支援活動への「Juntos(一緒に)」募金】へ寄付させていただきました。

皆さまの温かいご支援に感謝申し上げますとともに、被災地の皆様の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

NPO法人 会計基準取り入れ講座

NPO法人が会計書類を作成するにあたり、その作成指針として内閣府・三重県が推進をしている「NPO法人会計基準」について学んでみませんか？

今回は、「NPO法人会計基準」と既存の会計処理方法とはどう違うのか？取り入れる際にどのような点に注意をしたら良いのか？など、実務者向けの内容になっていますので、ご興味ご関心のある方はぜひご参加ください。

- 日時** 2015年11月14日(土)
13:30～16:30
- 場所** みえ市民活動ボランティアセンター
ミーティングルームB
(三重県津市羽所町700 アスト津3階)
- 対象** 「NPO法人会計基準」の導入を考えている
NPO法人の実務者
- 参加費** 1,000円
- 定員** 20名
- 講師** 黒田 朱里さん(公認会計士)
- お申込方法** 電話・FAX・メールにて、①氏名、②所属、
③連絡先をお伝えまたはご記入の上お申込みください。

【お申込み・お問い合わせ】

みえ市民活動ボランティアセンター

連絡先 TEL: 059-222-5995 / FAX: 059-222-5971

Mail center@mienpo.net

グレードアップセミナー 好評のうちに終了しました！

9～10月にかけて開催された「NPO グレードアップセミナー NPOの資金調達を考える 秋の陣」は、全ての講座が終了しました。

今年度は「NPOの資金調達」をテーマに3人の講師をお招きし、それぞれ異なる資金調達の方法を講義していただきました。

参加者の意識も非常に高く、満足度の高い講座となったと思います。講座で学んだことを持ち帰って、各団体の運営に活かしてもらえればと思います。



次世代育成のためのNPO応援基金 寄付先募集中

☆総額120万円!使い道は自由です!


応募資格 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「次世代育成支援」に関する活動を行っているNPO(NPO法人のほか、任意団体などを含みます)。

応募締切 11月16日(月)<消印有効>

選考方法 書面、プレゼン選考により寄付総額120万円を上限として各団体に配分

詳しくは
ホームページで

【お問い合わせ先】
株式会社三重銀行 調査部
TEL:(059)354-7102(担当 畑中)
URL:<http://www.miebank.co.jp/mir/>

“大切なこと、大切に”
 三重銀行

三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪柴町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

三重銀行 次世代育成のための NPO 応援基金

- ① 11月16日(月) 当日消印有効 ② 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「次世代育成支援」に関する活動に取り組む NPO 法人、団体 ③ 寄付総額 120 万円

JT 2016 年度 NPO助成事業～地域コミュニティの再生と活性化に向けて～

- ① 11月20日(金) 必着 ② 国内において地域社会の核となって実施する、地域コミュニティの再生と活性化につながる事業を行っている非営利法人
③ 1 件の上限 150 万円 (45 件程度) ※申請事業の経費合計額の 20%以上を本助成金以外で負担

防災教育チャレンジプラン実行委員会 2016 年度 防災教育チャレンジプラン募集

- ① 11月24日(火) 15:00 まで ② 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体等
③ 1 件の上限 30 万円 (プランの実践にかかる経費) その他、優秀な実践活動に対して賞状と盾

大和ハウス工業 エンドレス募金 支援先団体募集

- ① 11月30日(月) 必着 ② 貧困家庭の子どもが健やかに暮らせるための支援活動に取り組む非営利法人
③ 1 団体の上限 100 万円 (年額。10 件程度)

東洋ゴムグループ環境保護基金 助成団体募集

- ① 11月30日(月) 当日消印有効 ② 生物多様性の保全や環境問題等に取り組む団体
③ 1 件あたりの上限 100 万円

ヤマト福祉財団 平成 28 年度「障がい者福祉助成金」募集

- ① 11月30日(月) 当日消印有効 ② 心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援する福祉施設、団体
③ 1 件の上限 100 万円 (総額 500 万円)
※「障がい者給料増額支援助成金」も同時募集中

日本河川協会 「きれいな川と暮らそう」基金 平成 28 年度募集

- ① 11月30日(月) 当日消印有効 ② 水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動に取り組む市民団体 (NPO、NGO、サークル) 等
③ 1 団体の上限 50 万円

スタッフルーム

認知症の進行した母と向き合う日々を過ごしていると、息がつまりそうになります。そこで、ウォーキングに出かけたり、稽古事をしたりと深まりゆく秋を楽しんでいます。

お茶のお稽古は雑念を頭から払って“無の心”にならないと点前ができないので、私にとって良い気分転換になります。季節の花と軸、道具組みなど学ぶべきことも多く、所作も間の取り方や緩急のテンポ、道具を置く位置など長年の間に受け継がれてきたことが、無駄のない動きとなっていて驚かされます。

茶道という日本の伝統文化の一端を垣間見ているに過ぎませんが、その雰囲気やふれ、味わう喜びを感じると共に、奥深さに興味も尽きません。(吉島)

認定した 特定非営利活動法人

(2015 年 9 月 10 日～2015 年 10 月 9 日認定分)

① 法人名 ② 主たる事務所の所在地 ③ 活動分野
④ 認定年月日 ⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 コルチカムの里
② 津市波見町 722 番地 78
③ 観光の振興、農山漁村・中山間地域
④ 2015 年 9 月 24 日
⑤ 理事長 宮崎 尚義

- ① 特定非営利活動法人 きずな
② 津市野田 118 番地
③ まちづくり、環境、地域安全
④ 2015 年 10 月 6 日
⑤ 理事長 池村 道明

- ① 特定非営利活動法人 祇川環境美化推進協議会
② 多気郡明和町大字竹川 277 番地
③ 環境
④ 2015 年 9 月 24 日
⑤ 理事長 西場 松男



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とうりんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。